

## これからの磐城 その4

磐城高校は、来年度、125周年を迎えます。来るべき150年や200年に向けて、きちんとした目標を掲げて、磐城高校のあるべき姿を提示していかなければなりません。

現在、福島県の県立高等学校改革計画が策定され、その基本計画と前期実施計画が発表されております。磐城高校は、その中で、進学指導拠点校に位置づけられました。

### ① 進学指導拠点校

- ・ 本県の学習指導や進学指導のリーダー校として、難関大学や医学部志望者の進路実現を図るための取組を行い、各分野において国内外で活躍し、未来を牽引できる人づくりを担う進学指導拠点校として、以下の4校（福島、安積、会津、磐城）を位置づけ、進学指導重点校（次項②に記載）と連携して県内の教育力向上を図ります。
- ・ 生徒の興味・関心や進路希望等に対応した多様な学習内容が選択できるよう、単位制（学年による教育課程の区分を設けず、定められた単位を修得すれば卒業が認められる教育課程のこと。一人一人の学習計画に基づいて、それぞれの興味・関心等に合った科目を選択でき、学年の区分なく自分のペースで学習ができるなどの特徴がある。）の高等学校へ転換します。
- ・ 新しい学習指導要領と高大接続改革に対応した、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた質の高い授業を展開することによって、様々な課題に主体的に取り組み、他者と協働しながら課題を解決する態度を育成します。
- ・ 生徒一人一人の思考力・判断力・表現力の向上とともに、大学での学びにつながるような知的探究心の喚起を目指し、本質的で深い学びへ導く探究的な授業を積極的に展開します。
- ・ 地域課題に関する討論や発表などを通じて、地域、社会、政治などへの関心を高め、社会の一員として積極的に社会に参画する態度を養うシティズンシップ教育を推進します。
- ・ 外国語で意見を主張できる発信力やコミュニケーション力を高める取組を展開し、グローバルな視点から思考することで、国内外における各分野のトップリーダーとして活躍できる能力を育成します。
- ・ 進学指導拠点校が、学習指導や進学指導のノウハウを進学指導重点校等と共有することで、各校の進学指導力の向上を図るとともに、教員の学習指導や進路指導の力をさらに高め、生徒の進路希望を実現します。